

参加者の質問・意見	教育委員会の回答・コメント
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柴山小学校をどうしようと考えているのかわからない。例えば、奥佐津小、長井小、余部小、御崎分校と柴山小学校とのいろいろな違いを同じものとして扱うのか。 ・最後に「存続を希望する」「今すぐ統合を希望する」というアンケートが求められているが、今の説明では、どのように判断するのか、材料になっているのかわからない。出席者もどのような点を質問すればいいのか迷っている。教育委員会のこらからの方向付けとして、どの点がどう違うのか説明してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・香美町の子ども的人数が本当に少なくなってきた中で、町長からの諮問があり、2回のアンケート調査をとった。アンケート調査結果で、人数が少ないから統合も仕方がないという町民や保護者がかなり多いことがわかったが、心の底から統廃合しようという声はそう多くなかった。 ・余部小学校にしても柴山小学校にしても大変魅力ある学校づくりをしている。この良さをさらに高めることによって存続することが可能ではないか。子どもの教育が第一であるが、地域づくりとか多方面にわたって考えたときに、今学校を存続して保護者、地域が一丸となって教育ができる環境、ここで子どもを育てることが素晴らしいことではないかと教育委員会は考えている。5年先までは人数も見えているし、地域の様子もわかるので、この間は存続させていきたいという思いで環境会議に臨んでいる。今日のプレゼンテーションや会議の中での話を十分検討し、方向付けしてほしい。
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐津地区の新聞記事と今日の説明を併せて、現時点で教育委員会は「小学校の統廃合を当分は考えていない」という認識で聞いている。それが間違いであれば、現時点での柴山小学校の方向性を聞かせてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに教育を保障するという部分では、教師の力量と人数が一番大きな影響力だと思う。香美町には教職員が 200 人以上勤務している。小中学校合わせて約 1400 人の児童生徒を 200 人が指導に当たっている。仮に、香住区のすべての小学校を香住小学校に統合し、そして村岡・小代区を村岡小学校にすべて統合し、中学校も香住第一中学校と村岡中学校にすると教職員は 120 人以上減ることになる。同じ 1400 人の子どもを 80 人程度で教えるのであれば、200 人で教えた方がいい。200 人いた方が絶対により教育ができるかどうかは別だが、120 人以上を失うことで教育力が高まるはずがない。 ・先生は町の地方公務員であるが、県費負担職員ということでお金は基本的に県から出ている。そのうちの 3 分の1は国の補助である。国は、地方の学校を統合し、人件費を中央に持っていき 40 人学級を 35 人学級にする。そのときには先生がたくさ
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きい小さいは別として、いろいろな意味で教育の格差があってはならない。お金を持っている人はそれなりの教育を受けられるが、持っていない人は受けられないという現実がある。教育格差はできるだけあってはいけない。格差が出てこようとしている中で、子どもたちが将来、世の中で生きていく上では、基本的な力を付けなければいけない。教育については、行政としてそれなりのお金を使ってほしい。教育にお金を注いでいくということは行政としては難しい局面だと思うが、確保できていくのか？ 	

	<p>んいる。統合したお金で効果的に賄おうというのが、国の考え方では、地方から教員がいなくなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切磋琢磨というのは、大きかったら切磋琢磨するという考え方もあるけれど、はじかれてしまって、なかなか切磋琢磨できない子どもたくさんいる。子ども同士で切磋琢磨するというのも大事な教育だが、成熟した今の時代では、子ども同士の切磋琢磨だけでは、本当に強い子どもは育てられない時代になっている。 ・小規模といってもいろいろな規模がある。子どもの人数が極端に少なくなったときに本当に大丈夫かという不安があるが、柴山小は今の人数で何も心配することはない。素晴らしい教育ができる環境である。ただ、一人ひとりをもっと磨く教育をこれからどうできるのか、地域の皆さんの力を借りて、柴山ならではのいろいろなことを体験したり、活動したり柴山でないとできない教育がいっぱいある。柴山にしる、余部にしても、今までから優れた地域の特色ある教育ができています。柴山の魅力ある取組は、地域の活性化の基本になってくると思う。 ・そういう地域ならではの体験をしない子どもたちが大きくなって、香美町を担うということは難しいと思う。 ・日本の教育のルールは学級に児童が40人いれば先生を1人配置し、小学校1年生から4年生までは35人で先生1人を配置する。逆に児童1人でも1人の先生を配置することになっている。ただ、それを効果的に使うかどうか非常に大事なことです。今考えていることは、100人を切る教職員で教育するよりも200人以上の教職員が団結してしっかりと特徴ある教育をやるのが非常に大きな力になるのではないかと考えている。
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞いて、統廃合を考えるという問題ではなく、教育委員会はいかに学校を存続させるかという意見に考えられる。 ・統合する場合は、香住区で1校、村岡区で1校という統合を考えているのか、もう少し細かい統合を考えているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・柴山小学校を統合する場合は、奥佐津小学校、佐津小学校との3校統合も考えられるし、香住小学校に全て統合するなどいろいろ考えられるが、どこどこが統合するという具体的な話はない。すべての小規模校を残す考えでいる。その中で地域、保護者の皆さんが、今の取り組みでは子どもを預けられないという不安があれば、統廃合を考える必要がある。統廃合をすべて否定している訳ではない。しかし、将来的なことを考えてもここで踏ん張ることが大変重要なことではないか、魅力のある

	<p>チャレンジになるのではないか。理解いただけるのであれば5年先までこの方向で頑張っていきたい。</p>
<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合しない方向の良さは分かるが、統合しないことのデメリット、統合することのメリット、デメリットが見えてこないがどう考えているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本はこれまで一斉指導という教育の仕方で行ってきた。しかし、学習内容も変わり、香住小学校の人数でも一斉指導で授業・教育することは非常に難しい。 ・法律が変わり、市町の判断で学校の先生を配置することができるようになったが、費用を市町が負担しなければならないため、先生の人数を増やすということは実際にはできない。 ・年配の方は、大人数の学級で切磋琢磨してきたと考えるが、多くいれば、はじかれる子もいるし、いじめなどの問題も多い。問題が起きれば、子どもたちを抑えることしかできなくなってくる。大人数でなければできないこともあるけれど、少人数だからできるということもある。どちらも課題がある。どちらを選択するかということになるかと思う。小学生の間は、子どもたちが愛情に包まれて保護者と地域と一体となって教育を受けるということが大切なことだと思う。今の柴山小学校には、そういう環境があるので、わざわざ統合していく必要はないと思っている。
<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は人数が多い少ないは関係ないと思う。一番大事なのは子どもたちがどうあるべきか。小学校の段階でカルチャーショックに負けない心の強さを作ってほしい。先生方に魅力ある授業づくり、子どもたちの学力をどう伸ばしていくのか考え、情報発信しながら学力と心の豊かな子どもたちをつくれる学校づくりを考えてほしい。 ・先生も体力的にも大変だと思う。地域の何地区かに子どもたちの心のケアができるスクールカウンセラーを置くことも大事なこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の児童数は課題になっているが、学校教育だけで教育をやっているのではないと理解していただきたい。子どもは、学校に縛られて常に同じメンバーではなく、公民館の活動、少年野球や小中連携などでいろいろな子どもと交わっている。村岡・小代区では中央公民館の活動もスーパー連携チャレンジプランのように小学生が土曜チャレンジ学習に取り組んでいる。来年度から香住区でも始める。学校教育は、もちろん子どもたちを育てる大事な場所だが、中央公民館、地区公民館と生涯学習がいろいろな面で取り組みをしているので理解いただきたい。
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柴山小学校の取組について、大変熱心に行っていると感じている。 ・柴山小学校を卒業して、ふるさとを離れて仕事に就いている先輩を定期的に母校に招 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成の1つの例として、香住小学校で香住区森出身の福本清三さんが来て、講演や立ち回りをした。各校区に、離れていれば離れているほどふるさとに対して強い思いを持っている方がいると思

<p>待して先輩の立場として話をする機会を繰り返して、次の世代にプラスになる人材育成を考えるべきでは？</p>	<p>う。紹介していただき、ふるさと教育の参考にさせていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柴山小学校の最大の魅力は、地域の方々の強い思いだと思う。ふるさと教育に取り組んでいるが、子どもたちは柴山、港、産業、文化に対して非常に強い愛着を持っている。支援してもらう方々へ感謝している。それほど子どもたちと地域とのつながりが強い柴山小学校だと思う。人材育成の件も考えながら機会があればどんどんやっていきたい。
<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身で資料やインターネットで調べているが、世界の中で、日本は2番目に学校の人数が多い。アメリカは多過ぎ、荒廃が進んだため、今、学校の規模を縮小化している傾向がみられる。日本は少し遅れている気がする。フィンランドは、小規模の取組をしていることで少子化が減少していると統計がでている。広い視野で見れば、今回統合しない話は世界的に間違っていない気がする。自身の経験から児童数が多いと先生の余裕が出てこないのではないかと思うので、今回の教育委員会の方針はいいと感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合について、教育委員会はすべての学校単独で考えている。それぞれの地域の保護者や住民の意見が統合の方向にまとまるのであれば、ひとつの選択として受け止める余裕をもっている。ただ、アンケートの実態と我々がつかんでいる現状と考えたときに、今すぐ統合の必要はないと考えている。 ・素晴らしい環境を生かし、全国に打って出られるような魅力のある学校づくりをしようと先生方と協力して取り組んでいる。先生方も一生懸命協力して研修している。中学校との連携も非常にスムーズに連携が深まっているので、今以上に素晴らしいメリットがでてくると思う。
<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の会議が、統廃合しないということを前提とした会議と感じて、期待外れと感じている。 ・長井、余部小の 20 人ぐらいの学校と柴山小学校を同じように考えるのかという疑問がある。仮に長井小学校から香住小学校に統廃合したいという声が上がったときに、長井小学校だけを統廃合してしまうのか。その時点で余部、柴山、今の一中校区すべてを考慮されるのか。逆に柴山が存続をしたいという声がずっと上がって柴山だけが孤立してしまうことがあるのかと心配がある。香住小学校と柴山だけになった場合にチャレジンプランができなくなるという不安がある。 ・実際教育を受けている子どもたちの意見に興味があるので、子どもにアンケートを取ってみてもいいと感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・30 年先自治区がなくなるのではと言っているが、その中で学校という拠点は、大きな拠点になる。素晴らしい教育ができるのであれば、5年間は力いっぱいチャレンジしてみたいと思う。

<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模校から中学校に行ったとき、大人数になったときに子どもが萎縮してしまって力が発揮できなくなってしまうかという心配がある。 ・中学校との連携とは、具体的にどのようなことをされているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・一中に来る4つの小学校に関しては、小中連携を伝統として連携している。秋に体験入学を始め、入学説明会、部活動見学などに学校に来ている。先生たちもオープンスクールをはじめ、学校の様子を見に来たり、夏休み明けに中学校の学習の冊子を配布するなど取り組んでいる。 ・香住一中は、268名と生徒数が非常に減って来ているが、1年生は小学校でチャレンジプランに取り組んでいることもあって、大きなところに入ってびっくりしている姿は感じていない。スムーズに移行していると思っている。 ・小中連携には、力を入れて取り組んでいきたい。今年度は地元の高校、小学校、幼稚園を含めて、一貫した教育、あいさつ等頑張っていきたい。2学期以降の大きな目標にしているので地域の方も協力していただきたい。
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布資料の1ページの中で、奥佐津小学校の3・4年生、5・6年生で複式学級になっている。1・2年で複式学級になっていないのは何か意味があるのか。複式になるかならないかの判断基準があれば、後学のために教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式学級は、隣り合う学年の児童数が1・2年で8名以下、2～6年で14名以下になった場合に複式学級を編成する。学級数に応じて、学校に配置される先生の人数が決まるが、学校に配置された先生のやりくりで複式学級を解消することができる。佐津小学校の1・2学年については、学校の中で配置を考え、複式学級を解消している。